

景観配慮協議申出書

2021年5月12日

(宛先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]
 届出者 氏名 徳増 明彦
 電話 [Redacted]
 住所 神奈川県逗子市逗子4丁目3番5
 代理人 氏名 株式会社 海設計 岡田 整
 電話 046-(807)-2701

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	住商複合地・一般住宅地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	神奈川県逗子市逗子4丁目3番5	
	氏 名	株式会社 海設計 岡田 整	電話 046-(807)-2701
行 為 の 場 所	地 名 地 番	神奈川県鎌倉市笛田一丁目162番1 外6筆	
	用 途 地 域	準工業地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	2021年 6 月 21日	完了予定 2021年8月30日

(裏)

建築物の概要	用途	店舗			
	最高の高さ	3.853m	階数	地上 1階	地下 階
	構造	S造			
	敷地面積	1280.53m ²			
	建築面積	205.25 m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 205.25m ²
	延べ面積	205.25 m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 205.25m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m	
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
	仕上材	屋根	折半屋根	色彩	屋根
外壁		サトイッチハ祢	外壁		2.3GY 7.8/0.8(アタリ)
開発行為の概要	開発区域の面積				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()		
	行為の内容	切土 (m ²)	盛土 (m ²)	その他 ()	

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	全体的には低層の住宅、集合住宅が立ち並んでいますが、主要道路沿いは店舗や工場も見受けられます。
まち並みの連続性	産業複合地のまち並み形成の方向性に反し、敷地前面に建築物が建ち並んでいます。
周辺建物のデザイン	シンプルなデザインの二階建ての建築物が多く見受けられます。
眺 望 景 観	低層の建物の為、特に問題ありません。
景 観 資 源	視界を遮るものが無く開放感のある景観

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	通りからセットバックした位置とし、オープンスペースの創出と開放的であるおいのある環境の形成に努めました。
形 態 意 匠	◎	周辺のスカイラインを継承した高さの平屋としました。
色 彩	◎	基準を満たした上で、さらに周辺の町並みと調和したものとしました。
建 築 設 備	○	一部室外機は屋根上、その他は建物脇、裏手に集約しました。周辺は緑化により修景しました。
外 構 緑 化	◎	建物周辺と接道際にバランスよく配置しました。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		